

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「品質に優れ、後世に残るような土木施設を安全に社会に提供し貢献する」という経営理念を、社内の数か所に掲示するとともに、朝礼等で従業員に周知している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・朝礼で、社長から従業員に対して交通法規、労働関係法令等の遵守を周知徹底している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な取引確保等のため、社長が見積書など全てチェックしている。また、問題があれば従業員から社長に報告・相談している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・土木工事に当たっては、近隣に騒音、埃、不便等を与えることもあるので、事前に社長、現場責任者が地元区長や地域住民を訪問、説明し、苦情があれば会社で組織的に対応している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内で培った技術、ノウハウはもとより他社が有する知的財産については従業員に周知し、外部に流出しないよう取り扱い注意とするなど、知的財産保護を意識して取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については、厳重保管し、取締役が一括管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・業務を円滑に進めるため、関係業者、行政等と日頃から情報交換を密にしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・各現場監督の下で実地指導を行ったり、熊本県地域振興局主催の防疫研修をはじめ各種研修会に派遣するなど、日常の業務を通じて後継者の教育・指導・育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・女性や高齢者を雇用しているが、あらゆる雇用条件及び職場環境で差別しない。また、保護観察者の受け入れ、日頃から差別や人権侵害がないよう取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生の講習会には必ず参加している。また、朝礼において、作業現場ごとに安全衛生確保について周知徹底している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・責任の度合いや能力の違いで多少の差があるのはやむを得ないと考えているが、同一の労働に対しては同一の賃金で対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・日頃から業務効率を上げることで原則、残業はしない。有給休暇についても社長から従業員に取得を奨励している。また、昨今の気候変動による酷暑を踏まえ有給休暇増に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・従業員の資格取得に係る研修、講習、受験費用は全て会社で負担している。また、資格に応じて手当の支給も行うなど人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身とともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の定期健康診断費用は会社負担としている。また、朝礼等で交通事故等への注意喚起やラジオ体操などの励行など、従業員の心身の健康増進に取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務内容や処遇などにおいて、性別や年齢で差別的な待遇は行っていない。誰もが活躍できるよう、社長が率先して職場環境改善に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト		事業者名: 株式会社 古城建設		・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物等については、専門業者に委託して適切に処理している。マニフェスト伝票によりチェックし伝票を保管している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・会社事務所の電気をLEDに交換したり、太陽光パネルを設置し自家消費するなど節電、省エネに取り組んでいる。また、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・会社事務所の電気をLEDに交換したり、太陽光パネルを設置し自家消費するなど温室効果ガス排出抑制に取り組んでいる。また、簡易計算シート等を用いてCO2排出量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場事務所周辺にプランターを設置し花で飾っている。また、河川工事の際には沈砂池を段階的に設置、創意工夫し濁水の流出を防止するとともに魚類を逃がすなど生態系の配慮に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・業務を通じて、できるだけゴミが出ないように、またゴミが出たらきちんと分別し再利用できるよう工夫、徹底している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工事現場等は、水の確保が厳しいところが多く、普段から水を大切にすることを徹底している。また、森林(桧)を3ha管理し水源涵養に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・メモ用紙は裏紙の活用を徹底している。制服についてはペットボトルを再利用した製品を活用し、トイレットペーパーなども環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・現場事務所周辺にプランターを設置し花で飾っている。また、農地水活動に参加し地域の緑資源の保全活動に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・会社事務所の電気をLEDに交換したり、太陽光パネルを設置し自家消費するなどエネルギー効率の見直しと再生可能エネルギーの利用を進めている。また、低騒音・省エネタイプの発電機を1機導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・3haの山林に桧を植林し、育苗して28年生になっているが、適宜間伐しながら持続可能な森林利用に取り組んでいる。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・3haの山林に桧を植林し、現在28年ほど経過しているが、適宜間伐しながら森林整備に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・社長から従業員に周知し、会社全体でレジ袋の使用削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト		事業者名: 株式会社 古城建設		・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・施工計画書通りに施工されているか、社長が工事品質の証明員となり品質をしっかり確認し写真等で記録に残し顧客に報告している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・会社事務所のトイレを和式から洋式に変更した。また、作業現場の階段、梯子等に手すりを設けるなど、誰もが利用しやすい環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・建設資材をはじめ地域で調達できる物資等については、多少値段が高くても可能な限り地元で調達し活用している。また、贈答品についても積極的に県産品使用に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・会社事務所の床、壁、テーブルなどを木質化するとともに、業務でも県産材の利用に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・社長が消防団員であり、かつ会社自体が消防団協力事業所となっており、地域で災害等が発生すれば会社の重機等を投入し即時対応している。また地域の献血活動、地域の祭事等への寄付は随時行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・日頃から気象情報を把握し台風災害をはじめ事前に防災体制を敷いている。また、ハザードマップは従業員に周知徹底を図るため従業員の目につきやすい社内に掲示している。				4						11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社長が消防団員であり、かつ会社自体が消防団協力事業所となっており、地域で災害等が発生すれば会社の重機等を投入し即時対応している。また社内には救命救急士の資格者もあり、AEDも常備している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	熊本県のSDGs登録内容を従業員に周知し、社内研修に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受入体制を整えており、鹿本管内の高校を訪問し受入活動を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・これまで地元の生徒を積極的に雇用しており、現在も地元の高校や県下の工業高校に求人募集をしている。また、若手従業員に依頼して地域の若者の就職実現に向けた取組みを行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
						・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																